

(5)平成 13 年 安定同位体分析調査

水を構成する水素には質量数 1 と 2 の 2 種類、酸素には質量数 16、17、18 の 3 種類  
 類の安定同位体がある。この調査は、この安定同位体の存在比によって、水の起源、  
 移動経路を推定するものである。試料採取位置は、前項の採水位置に加えて、図 2.14  
 に示す J4 地山排水ドレーンと J10 の継目排水である。分析の結果を図 2.15 に示す。  
 本調査の結果から、堤体左岸下部の漏水は左岸地山や地山ドレーンの類同位体比  
 を示し、堤体中央下部の漏水は貯水池と類同位体比を示すことが判明した。

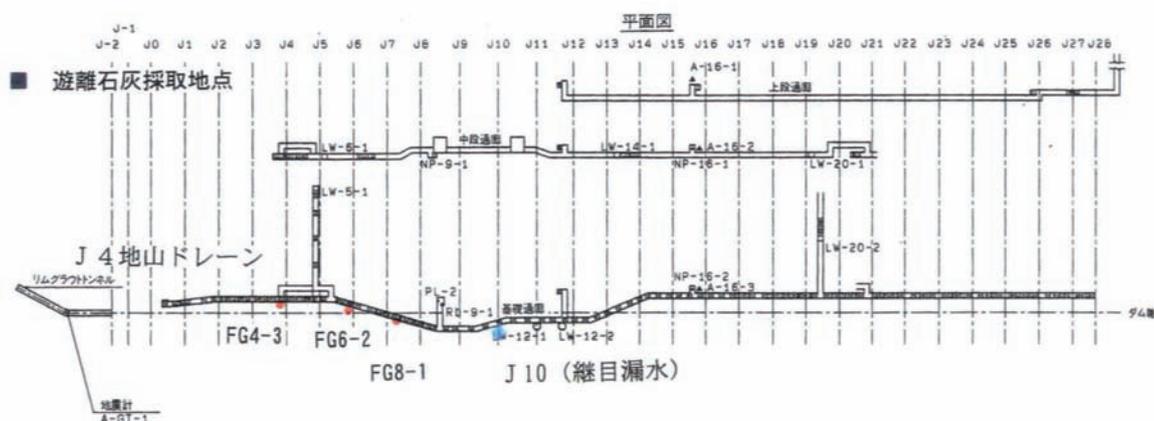


図 2.14 安定同位体分析追加採水地点

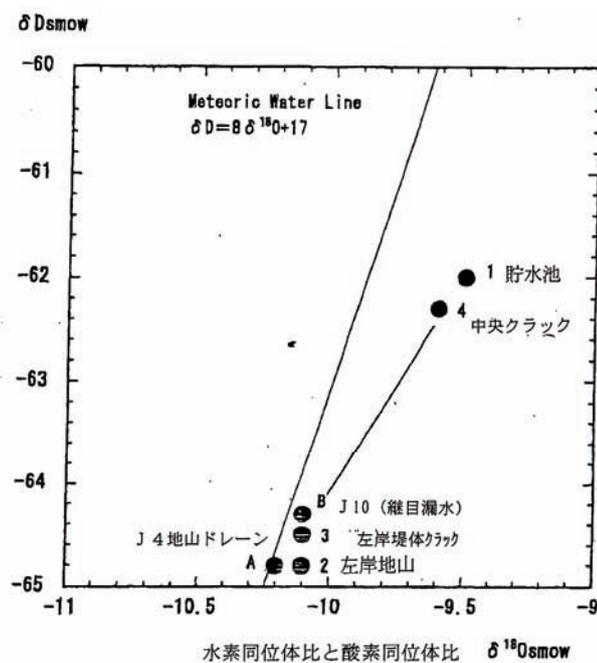


図 2.15 水素同位体比と酸素同位体比

(6)漏水経路

以上の調査から、堤体下流面の漏水が基礎地盤浸透水か堤体を経由するものかは確定できないが、図 2.16 に示す経路が想定される。

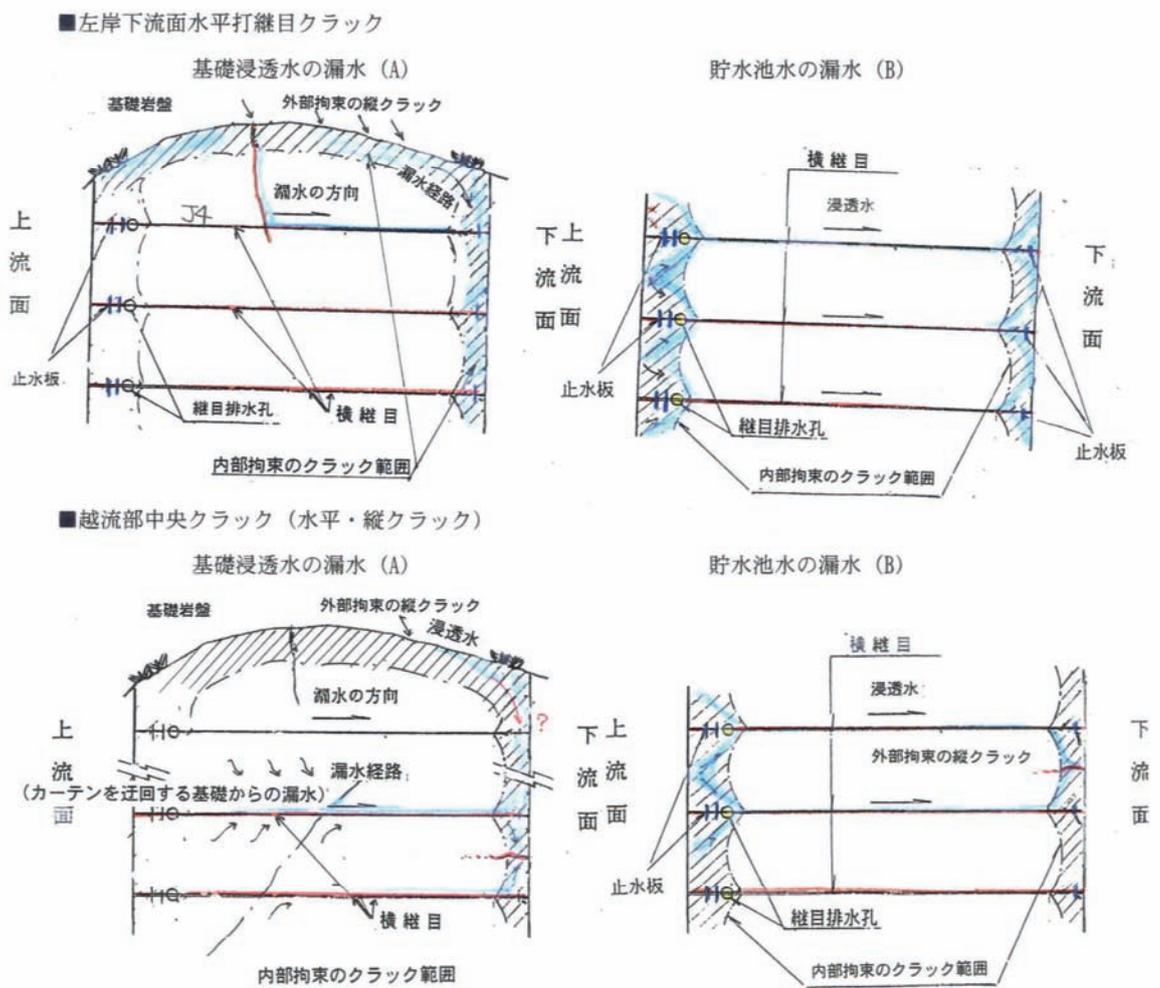


図 2.16 漏水経路模式図